

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年12月26日
【四半期会計期間】	第34期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	株式会社フォーバル
【英訳名】	FORVAL CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中島 將典
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区神宮前五丁目52番2号
【電話番号】	03 (3498) 1541(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役 加藤 康二
【最寄りの連絡場所】	東京都江東区佐賀一丁目1番3号
【電話番号】	03 (6826) 8881
【事務連絡者氏名】	取締役 加藤 康二
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成25年8月9日に提出した第34期第1四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、四半期報告書の訂正報告書を提出するものがあります。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表につきましては、優成監査法人により、再度四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

また、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式のデータ一式(表示情報ファイルを含む)を提出いたします。

## 2【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第1 企業の概況

##### 1 主要な経営指標等の推移

#### 第2 事業の状況

##### 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

###### (1)業績の状況

###### (2)財政状態

#### 第4 経理の状況

##### 2. 監査証明について

##### 1 四半期連結財務諸表

###### (1)四半期連結貸借対照表

###### (2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

###### 四半期連結損益計算書

###### 第1四半期連結連結累計期間

###### 四半期連結包括利益計算書

###### 第1四半期連結累計期間

##### 注記事項

###### (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

###### (セグメント情報等)

###### セグメント情報

###### (1株当たり情報)

### 独立監査人の四半期レビュー報告書

### 3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_\_\_線で示しております。

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第33期 第1四半期 連結累計期間	第34期 第1四半期 連結累計期間	第33期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 6月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(百万円)	8,480	8,744	35,193
経常利益(百万円)	165	193	1,216
四半期(当期)純利益(百万円)	77	330	780
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	12	114	838
純資産額(百万円)	5,576	6,110	6,259
総資産額(百万円)	13,972	14,117	16,674
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	5.73	24.94	57.71
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	36.8	40.0	34.7

(省略)

(訂正後)

回次	第33期 第1四半期 連結累計期間	第34期 第1四半期 連結累計期間	第33期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 6月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(百万円)	8,480	8,744	35,193
経常利益(百万円)	169	197	1,232
四半期(当期)純利益(百万円)	80	333	791
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	8	118	854
純資産額(百万円)	5,485	6,036	6,180
総資産額(百万円)	13,881	14,042	16,596
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	5.95	25.17	58.58
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	36.6	39.8	34.5

(省略)

## 第2 【事業の状況】

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1)業績の状況

##### (訂正前)

###### (省略)

利益面では売上総利益が前年同期に比べ87百万円増加（前年同期比3.6%増）した一方で、販売費及び一般管理費は事業拡大に伴う人件費の増加等があったものの、広告宣伝費の削減や事務所移転による地代家賃の削減等、引き続きコストの削減に取り組んだことにより前年同期に比べ44百万円の増加（前年同期比1.9%増）にとどまったことで、営業利益は168百万円（前年同期比33.8%増）、持分法投資損失10百万円の計上等により経常利益は193百万円（前年同期比16.7%増）となりました。なお、四半期純利益は投資有価証券売却益を164百万円計上したこと等により330百万円（前年同期比325.3%増）となりました。

###### (省略)

##### (訂正後)

###### (省略)

利益面では売上総利益が前年同期に比べ87百万円増加（前年同期比3.6%増）した一方で、販売費及び一般管理費は事業拡大に伴う人件費の増加等があったものの、広告宣伝費の削減や事務所移転による地代家賃の削減等、引き続きコストの削減に取り組んだことにより前年同期に比べ44百万円の増加（前年同期比2.0%増）にとどまったことで、営業利益は172百万円（前年同期比32.8%増）、持分法投資損失10百万円の計上等により経常利益は197百万円（前年同期比16.3%増）となりました。なお、四半期純利益は投資有価証券売却益を164百万円計上したこと等により333百万円（前年同期比313.4%増）となりました。

###### (省略)

(2) 財政状態

(訂正前)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,557百万円減少し14,117百万円となりました。

流動資産は9,530百万円となり、前連結会計年度末比2,164百万円の減少となりました。これは主として受取手形及び売掛金の減少1,480百万円、未収入金の減少482百万円によるものです。

固定資産は4,587百万円となり、前連結会計年度末比392百万円の減少となりました。これは主として投資有価証券の時価下落や売却に伴い投資その他の資産が343百万円減少したことによるものです。

流動負債は5,938百万円となり、前連結会計年度末比2,397百万円の減少となりました。これは主として支払手形及び買掛金の減少1,387百万円、未払法人税等の減少468百万円、未払金の減少233百万円によるものです。

固定負債は2,068百万円となり、前連結会計年度末比12百万円の減少となりました。これは主として退職給付引当金の増加31百万円に対し、長期借入金の減少30百万円、リース債務の減少8百万円によるものです。

純資産は6,110百万円となり、前連結会計年度末比148百万円の減少となりました。これは主として第1四半期純利益330百万円に対し、配当による減少232百万円、保有有価証券の時価の下落等によるその他有価証券評価差額金の減少243百万円等によるものです。

(訂正後)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,553百万円減少し14,042百万円となりました。

流動資産は9,530百万円となり、前連結会計年度末比2,164百万円の減少となりました。これは主として受取手形及び売掛金の減少1,480百万円、未収入金の減少482百万円によるものです。

固定資産は4,512百万円となり、前連結会計年度末比388百万円の減少となりました。これは主として投資有価証券の時価下落や売却に伴い投資その他の資産が343百万円減少したことによるものです。

流動負債は5,938百万円となり、前連結会計年度末比2,397百万円の減少となりました。これは主として支払手形及び買掛金の減少1,387百万円、未払法人税等の減少468百万円、未払金の減少233百万円によるものです。

固定負債は2,068百万円となり、前連結会計年度末比12百万円の減少となりました。これは主として退職給付引当金の増加31百万円に対し、長期借入金の減少30百万円、リース債務の減少8百万円によるものです。

純資産は6,036百万円となり、前連結会計年度末比144百万円の減少となりました。これは主として第1四半期純利益333百万円に対し、配当による減少232百万円、保有有価証券の時価の下落等によるその他有価証券評価差額金の減少243百万円等によるものです。

## 第4 【経理の状況】

### 2. 監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について優成監査法人による四半期レビューを受けております。

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について優成監査法人による四半期レビューを受けております。

また、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、優成監査法人による四半期レビューを受け、改めて四半期レビュー報告書を受領しております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
(中略)		
固定資産		
有形固定資産	1,072,186	1,054,312
無形固定資産		
のれん	459,377	445,844
その他	208,717	191,277
無形固定資産合計	668,095	637,122
投資その他の資産		
投資有価証券	2,267,264	1,758,443
その他	1,356,014	1,511,741
貸倒引当金	383,598	374,495
投資その他の資産合計	3,239,679	2,895,689
固定資産合計	4,979,961	4,587,123
繰延資産	515	206
資産合計	16,674,927	14,117,350
(中略)		
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,150,294	4,150,294
資本剰余金	2,488,479	2,488,479
利益剰余金	1,569,210	1,470,477
自己株式	250,231	250,251
株主資本合計	4,819,332	4,918,045
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	966,520	722,946
為替換算調整勘定	2,286	3,508
その他の包括利益累計額合計	968,806	726,455
新株予約権	5,283	6,324
少数株主持分	465,617	460,077
純資産合計	6,259,039	6,110,902
負債純資産合計	16,674,927	14,117,350

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
(中略)		
固定資産		
有形固定資産	1,072,186	1,054,312
無形固定資産		
のれん	380,693	371,094
その他	208,717	191,277
無形固定資産合計	589,411	562,372
投資その他の資産		
投資有価証券	2,267,264	1,758,443
その他	1,356,014	1,511,741
貸倒引当金	383,598	374,495
投資その他の資産合計	3,239,679	2,895,689
固定資産合計	4,901,278	4,512,374
繰延資産	515	206
資産合計	16,596,243	14,042,601
(中略)		
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,150,294	4,150,294
資本剰余金	2,488,479	2,488,479
利益剰余金	1,628,530	1,526,831
自己株式	250,231	250,251
株主資本合計	4,760,012	4,861,691
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	966,520	722,946
為替換算調整勘定	2,286	3,508
その他の包括利益累計額合計	968,806	726,455
新株予約権	5,283	6,324
少数株主持分	446,253	441,681
純資産合計	6,180,355	6,036,152
負債純資産合計	16,596,243	14,042,601



( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 1 四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
売上高	8,480,409	8,744,407
売上原価	6,046,197	6,222,569
売上総利益	2,434,212	2,521,838
販売費及び一般管理費	2,308,029	2,352,994
営業利益	126,182	168,843
(中略)		
経常利益	165,531	193,235
(中略)		
税金等調整前四半期純利益	165,196	341,049
法人税、住民税及び事業税	42,034	17,002
法人税等調整額	39,825	33,032
法人税等合計	81,860	16,030
少数株主損益調整前四半期純利益	83,336	357,080
少数株主利益	5,554	26,242
四半期純利益	77,782	330,838

(訂正後)

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
売上高	8,480,409	8,744,407
売上原価	6,046,197	6,222,569
売上総利益	2,434,212	2,521,838
販売費及び一般管理費	2,304,095	2,349,060
営業利益	130,116	172,777
(中略)		
経常利益	169,465	197,169
(中略)		
税金等調整前四半期純利益	169,130	344,984
法人税、住民税及び事業税	42,034	17,002
法人税等調整額	39,825	33,032
法人税等合計	81,860	16,030
少数株主損益調整前四半期純利益	87,270	361,014
少数株主利益	6,522	27,210
四半期純利益	80,748	333,804

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	83,336	357,080
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	94,146	243,573
持分法適用会社に対する持分相当額	1,624	1,222
その他の包括利益合計	95,771	242,350
四半期包括利益	12,434	114,729
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,588	88,487
少数株主に係る四半期包括利益	5,154	26,242

(訂正後)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	87,270	361,014
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	94,146	243,573
持分法適用会社に対する持分相当額	1,624	1,222
その他の包括利益合計	95,771	242,350
四半期包括利益	8,500	118,663
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,622	91,453
少数株主に係る四半期包括利益	6,122	27,210

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

(訂正前)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	62,172千円	63,236千円
のれんの償却額	41,438千円	33,533千円

(訂正後)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	62,172千円	63,236千円
のれんの償却額	37,504千円	29,599千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(訂正前)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

(省略)

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	142,969
「その他」の区分の利益	8,210
セグメント間取引消去	272
のれん償却額	25,270
四半期連結損益計算書の営業利益	126,182

(省略)

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

(省略)

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	174,496
「その他」の区分の利益	10,571
セグメント間取引消去	7,988
のれん償却額	24,213
四半期連結損益計算書の営業利益	168,843

(省略)

(訂正後)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

(省略)

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	142,969
「その他」の区分の利益	8,210
セグメント間取引消去	272
のれん償却額	21,336
四半期連結損益計算書の営業利益	130,116

(省略)

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

(省略)

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	174,496
「その他」の区分の利益	10,571
セグメント間取引消去	7,988
のれん償却額	20,279
四半期連結損益計算書の営業利益	172,777

(省略)

( 1株当たり情報 )

( 訂正前 )

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
( 1 ) 1株当たり四半期純利益金額	5円73銭	24円94銭
( 算定上の基礎 )	—	—
四半期純利益金額 (千円)	77,782	330,838
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額 (千円)	77,782	330,838
普通株式の期中平均株式数 (千株)	13,563	13,263
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

( 省略 )

( 訂正後 )

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
( 1 ) 1株当たり四半期純利益金額	5円95銭	25円17銭
( 算定上の基礎 )	—	—
四半期純利益金額 (千円)	80,748	333,804
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額 (千円)	80,748	333,804
普通株式の期中平均株式数 (千株)	13,563	13,263
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

( 省略 )

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年12月25日

株式会社フォーバル

取締役会 御中

### 優成監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 加藤善孝 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 須永真樹 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 小野潤 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フォーバルの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る訂正後の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フォーバル及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成25年8月8日に四半期レビュー報告書を提出した。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。